

愛知県立芸術大学国際交流事業 2026

カールスルーエ 音楽大学

～オースターターク教授(ヴァイオリン)を迎えて～

愛知芸大教授陣との室内楽のタベ

日時：2026年10月21日(水) 18:00開演(17:30開場)

会場：愛知県立芸術大学 室内楽ホール

曲目：C. フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調

W.A. モーツァルト：グラン・セステット・コンチェルタンテ(協奏交響曲K.364 による弦楽六重奏版)

出演：クリスチャン・オースターターク(ヴァイオリン)

武内 俊之(ピアノ)

愛・知・芸術のもり 弦楽五重奏団

白石 禮子(ヴァイオリン)、桐山 建志(ヴィオラ)、福本 泰之(ヴィオラ)、西谷 牧人(チェロ)、渡邊 玲雄(コントラバス)

全席自由 入場無料

公開レッスン1(室内楽)

日時：2026年10月22日(木) 9:00～12:00

会場：愛知県立芸術大学 室内楽ホール

受講生：本学器楽専攻弦楽器コース学生

全席自由 入場無料

公開レッスン2(ヴァイオリン)

日時：2026年10月23日(金) 9:00～12:00

会場：愛知県立芸術大学 室内楽ホール

受講生：本学器楽専攻弦楽器コース学生 ほか

全席自由 入場無料

愛知芸術立 学大



クリスティアン・オースタータック教授
prof. Christian Ostertag
ヴァイオリン

1963年、ドイツ・カールスルーエの音楽一家に生まれる。著名なチェリストの父マルティン・オースタータックとピアニストの母を持ち、幼少期から英才教育を受ける。ヴァレリー・グラドフやライナー・クスマウルなどの名手に師事し、頭角を現した。

1990年、ドイツ音楽コンクールで第1位を受賞し、本格的な演奏活動を開始。1993年にはデュッセルドルフ交響楽団のコンサートマスターに就任。1996年からは南西ドイツ放送(SWR)交響楽団の首席コンサートマスターを務め、長年にわたりオーケストラの要として活躍した。

ソリストや室内楽奏者としても極めて高い評価を得ており、ヨーロッパをはじめ、日本、北米、南米など世界各地の音楽祭やコンサートに招待されている。その演奏は「甘く、強く、確かである」と評され、2001年にはプロ・ヨーロッパ文化財団から「ヨーロッパ・ソリスト賞」を授与された。

また、指導者としての活動にも注力しており、2005年からトロシゲン音楽大学の教授を歴任。現在は母校であるカールスルーエ音楽大学の教授を務めている。多くの教え子を国内外の主要オーケストラへと送り出しており、次世代の育成においても確固たる地位を築いている国際的ヴァイオリニストである。



武内 俊之
ピアノ

東京藝術大学附属音楽高校、同音楽学部、同大学院をいずれも首席で卒業・修了。全日本学生音楽コンクール第1位、安宅賞、クロイツァー賞、日本音楽コンクール第1位、野村賞、井口賞、河合賞など、受賞歴多数。文化庁芸術家在外研修員として渡欧し、カールスルーエ国立音楽大学大学院Kozertexamen課程にて、カレ・ランダル教授のもと研鑽を積む。ドイツ国家演奏家資格取得。これまでに、国内外でのソロ・リサイタルのほか、各地のオーケストラとの協演、室内楽、現代作曲家からの委嘱演奏、アルバムリリースなど幅広い活動を展開し、高い評価を得ている。現在、愛知県立芸術大学教授、また名古屋音楽大学客員教授として、後進の育成にも力を注いでいる。



愛・知・芸術のもり 弦楽五重奏団
(左より 西谷 牧人・桐山 建志・白石 禮子・福本 泰之・渡邊 玲雄)

愛知県立芸術大学器楽専攻弦楽器コースの常勤の教授陣は幸いなことに全員が、室内楽の分野での研究や演奏活動に情熱をもち、教育・研究活動の重要な部分として室内楽を位置づけています。それぞれの個性と研究テーマを生かし、お互いに切磋琢磨して音楽の真髄に近づきたい、そんな気持ちが弦楽五重奏団を結成する原動力となり、2008年より活動しております。弦楽五重奏のほか、二重奏から四重奏まで幅広いレパートリーを持ち、様々な形で積極的に演奏活動を行っています。「愛・知・芸術のもり」は愛知県立芸術大学を言葉にしたものです。「もり」は自然環境の豊かな「森」に大学が立地していることを表わしていますが、「盛・守・杜」色々な意味を込めて、敢えてひらがなにしました。

白石 禮子 (ヴァイオリン)

桐朋高校を経てパリ国立高等音楽院及び同大学院首席卒業。13歳で全日本毎日学生音楽コンクール優勝、17歳でロン＝ティボー国際コンクール最年少入賞、ヴェニエアフスキ国際コンクール第3位他、受賞多数。13歳で名古屋フィルと協奏曲を共演以来、国内外でオーケストラと共演、リサイタルを行う傍ら、TV、NHK-FM、音楽祭等にも出演。ソニー主催によるリサイタルでは絶賛され、「音楽の友」誌より年間ベスト1の公演に選ばれた。繊細な美しい音色と鋭い洞察力に基づく深い音楽表現に定評がある。愛知県立芸術大学教授。

桐山 建志 (ヴィオラ)

東京藝術大学を経て同大学院修了、フランクフルト音楽大学卒業。1998年古楽コンクール〈山梨〉第1位、1999年ブルージュ国際古楽コンクール第1位。レコード芸術特選盤「シャコンヌ」を皮切りに多数のCDをリリース。「松本バッハ祝祭アンサンブル」等のコンサート・マスター、「エルデーディ弦楽四重奏団」ヴィオラ奏者などを務める。現在、愛知県立芸術大学教授。チェンバロの大塚直哉と共にデュオ・ユニット「大江戸バロック」を主宰。

福本 泰之 (ヴィオラ)

愛知県立芸術大学大学院修了後直ちに同大学音楽学部の専任助手となる。1994年、渡欧しウィーン国立音楽大学のM.フリッセンシュラーガー教授のもとで研鑽を積む。2001年まで室内楽グループ「アンサンブル・ソノリタス」で活動。2016年、愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。現在「ザ・ストリングス名古屋」の首席奏者で「名古屋二期会オペラ管弦楽団」「長久手フォレスト合奏団」などのコンサートマスター。愛知県立芸術大学教授及び副学長。

西谷 牧人 (チェロ)

奈良県出身。東京藝術大学及び同大学院、米国インディアナ大学を修了。兵庫芸術文化センター管弦楽団、東京交響楽団首席チェロ奏者、東京藝術大学非常勤講師を歴任。2013年度青山音楽賞受賞。ジャンルを超えて多岐にわたる演奏活動を行なっている。自作自演弦楽ユニット「清水西谷」、弦楽アンサンブル「石田組」、トリオ・ジャパン各メンバー。2024年より愛知県立芸術大学准教授を務める。

渡邊 玲雄 (コントラバス)

東京藝術大学卒業及び同大学院修了。ドイツ・ヴェルツブルク音楽大学マイスタークラス修了。バイエルン国立歌劇場オーケストラアカデミー、新日本フィル首席を経て、現在本学教授ならびに名古屋音楽大学客員教授。日本センチュリー交響楽団客演首席奏者。セイジオザワ松本フェスティバル、PMF、宮崎、仙台、京都、赤穂姫路、ラフォルジュルネ東京・新潟など様々な国際音楽祭に出演。アンサンブルofトウキョウメンバー。